

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-259335

(P2002-259335A)

(43) 公開日 平成14年9月13日 (2002.9.13)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)	
G 0 6 F 15/00	3 1 0	G 0 6 F 15/00	3 1 0 C	5 B 0 2 1
1/00	3 7 0	1/00	3 7 0 E	5 B 0 8 5
3/00	6 0 1	3/00	6 0 1	5 C 0 6 4
3/12		3/12	K	5 E 5 0 1
H 0 4 L 9/32		H 0 4 N 7/173	6 2 0 D	5 J 1 0 4

審査請求 未請求 請求項の数38 O L (全 20 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2001-57102(P2001-57102)

(22) 出願日 平成13年3月1日 (2001.3.1)

(71) 出願人 000001270

コニカ株式会社

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

(72) 発明者 鈴木 伸一

東京都日野市さくら町1番地 コニカ株式会社内

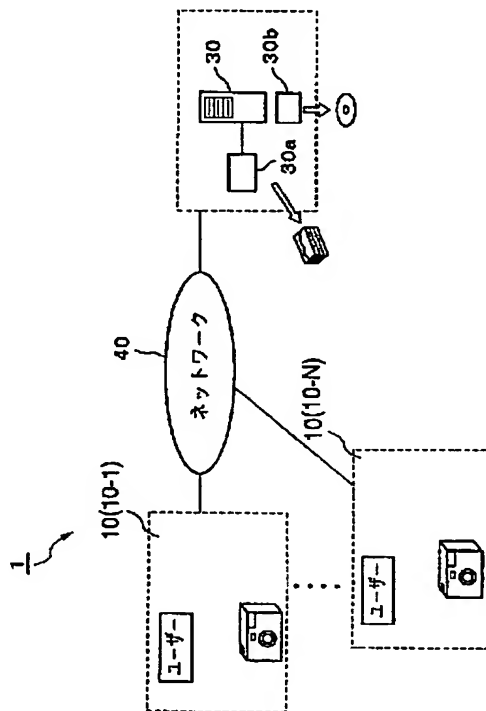
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報認識システム、デジタル撮像装置、店頭プリント装置、携帯電話機、情報処理装置、情報認識方法、及び情報記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、不特定多数の者が使用することのできる端末を使用する場合に、使用する度に、各ユーザー個人の好みの条件を設定することを要せず、ユーザー認証の作業も面倒にならない情報認識システム及び情報認識方法並びに情報記録媒体を提供する。

【解決手段】 少なくとも一つのユーザー端末とネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、前記ユーザー端末を利用するユーザーの認識を行うサービスを提供する情報認識システムである。前記ユーザー端末にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段を有する。さらに、前記認証処理手段での認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更する変更手段を有する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも一つのユーザー端末とネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、前記ユーザー端末を利用するユーザーの認識を行うサービスを提供する情報認識システムであって、前記ユーザー端末にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、前記認証処理手段での認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更する変更手段と、を含むことを特徴とする情報認識システム。

【請求項 2】 前記ユーザー端末は、不特定多数のユーザーが使用する装置であることを特徴とする請求項 1 に記載の情報認識システム。

【請求項 3】 前記ユーザー端末は、デジタル撮像機器であることを特徴とする請求項 1 に記載の情報認識システム。

【請求項 4】 前記ユーザー端末は、店頭にてプリントされる店頭プリント端末であることを特徴とする請求項 1 に記載の情報認識システム。

【請求項 5】 前記ユーザー端末は、インターネットブラウザ機能を有するコンピュータであることを特徴とする請求項 1 に記載の情報認識システム。

【請求項 6】 前記ユーザー端末は、プリペイドカードにて使用でき、個人情報の登録の不要な携帯電話機であることを特徴とする請求項 1 に記載の情報認識システム。

【請求項 7】 前記ユーザー端末は、ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取るための読取手段を含み、前記読取手段は、ユーザーが特別な操作や物を必要としない装置であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか一項に記載の情報認識システム。

【請求項 8】 前記読取手段は、バイOMETRICS 情報を読み取る読取装置であることを特徴とする請求項 7 に記載の情報認識システム。

【請求項 9】 前記読取装置は、指紋読取装置あることを特徴とする請求項 8 に記載の情報認識システム。

【請求項 10】 前記読取装置は、眼底読取装置であることを特徴とする請求項 8 に記載の情報認識システム。

【請求項 11】 前記読取装置は、声紋読取装置であることを特徴とする請求項 8 に記載の情報認識システム。

【請求項 12】 前記デジタル撮像機器の設定条件は、ユーザーの好みのカラーマネジメントであることを特徴とする請求項 3 に記載の情報認識システム。

【請求項 13】 前記デジタル撮像機器の設定条件は、記録画像の密度である読取画像密度であることを特徴と

(2)

特開 2002-259335

2

する請求項 3 又は請求項 12 に記載の情報認識システム。

【請求項 14】 前記デジタル撮像機器の設定条件は、日付であることを特徴とする請求項 3、請求項 12、請求項 13 のいずれか一項に記載の情報認識システム。

【請求項 15】 前記デジタル撮像機器の設定条件は、フラッシュ機能のオンオフ設定であることを特徴とする請求項 3、請求項 12 乃至請求項 14 のいずれか一項に記載の情報認識システム。

10 【請求項 16】 前記店頭プリント端末の設定条件は、アルバムにおける画像の配列順序であることを特徴とする請求項 4 に記載の情報認識システム。

【請求項 17】 前記店頭プリント端末の設定条件は、背景の画像の設定であることを特徴とする請求項 4 又は請求項 16 に記載の情報認識システム。

【請求項 18】 前記コンピュータの設定条件は、ブラウザのブックマークであることを特徴とする請求項 5 に記載の情報認識システム。

20 【請求項 19】 少なくとも一つのユーザー端末と、前記ユーザー端末とネットワークを介して通信可能に接続されたサーバーと、

を含み、前記サーバーは、前記ユーザー端末にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、前記認証処理手段での認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更する変更手段と、を含むことを特徴とする情報認識システム。

30 【請求項 20】 前記認証処理手段は、バイOMETRICS 情報にて認証するバイOMETRICS 認証処理手段を含むことを特徴とする請求項 19 に記載の情報認識システム。

【請求項 21】 前記バイOMETRICS 認証処理手段は、指紋情報にて認証することを特徴とする請求項 20 に記載の情報認識システム。

40 【請求項 22】 前記バイOMETRICS 認証処理手段は、眼底情報にて認証することを特徴とする請求項 20 に記載の情報認識システム。

【請求項 23】 前記バイOMETRICS 認証処理手段は、声紋情報にて認証することを特徴とする請求項 20 に記載の情報認識システム。

【請求項 24】 少なくとも一つのユーザー端末と、前記ユーザー端末とネットワークを介して通信可能に接続されたサーバーと、を含み、前記ユーザー端末は、

50

ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、
前記読取手段にて読み取られた前記認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、

を含み、

前記サーバーは、前記認証処理手段での認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更する変更手段を含むことを特徴とする情報認識システム。

【請求項25】 ネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、利用するユーザーの個別認識を行うことのできるデジタル撮像装置であって、ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段を含み、

前記読取手段にて読み取られた認識情報に基づき認証し、利用するユーザー個別の設定条件をデフォルトの設定からユーザーに応じて変更することを特徴とするデジタル撮像装置。

【請求項26】 ネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、利用するユーザーの個別認識を行うことのできるデジタル撮像装置であって、ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、

前記読取手段にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、

を含み、

利用するユーザー個別の設定条件をデフォルトの設定からユーザーに応じて変更することを特徴とするデジタル撮像装置。

【請求項27】 利用するユーザーの個別認識を行うことのできるデジタル撮像装置であって、ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、

前記読取手段にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、

前記認証処理手段での認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更する変更手段と、

を含むことを特徴とするデジタル撮像装置。

【請求項28】 ネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、利用するユーザーの個別認識を行うことのできる店頭プリント装置であって、

ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読

取手段を含み、

前記読取手段にて読み取られた認識情報に基づき認証し、利用するユーザー個別の設定条件をデフォルトの設定からユーザーに応じて変更することを特徴とする店頭プリント装置。

【請求項29】 ネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、利用するユーザーの個別認識を行うことのできる店頭プリント装置であって、

ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、

前記読取手段にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、

を含み、

前記読取手段にて読み取られた認識情報に基づき認証し、利用するユーザー個別の設定条件をデフォルトの設定からユーザーに応じて変更することを特徴とする店頭プリント装置。

20 【請求項30】 利用するユーザーの個別認識を行うことのできる店頭プリント装置であって、

ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、

前記読取手段にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、

前記認証処理手段での認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更する変更手段と、

を含むことを特徴とする店頭プリント装置。

【請求項31】 ネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、利用するユーザーの個別認識を行うことのできる携帯電話機であって、

ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段を含み、

前記読取手段にて読み取られた認識情報に基づき認証し、利用するユーザー個別の設定条件をデフォルトの設定からユーザーに応じて変更することを特徴とする携帯電話機。

【請求項32】 ネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、利用するユーザーの個別認識を行うことのできる携帯電話機であって、

ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、

前記読取手段にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、

を含み、
利用するユーザー個別の設定条件をデフォルトの設定からユーザーに応じて変更することを特徴とする携帯電話機。

【請求項 3 3】 利用するユーザーの個別認識を行うことのできる携帯電話機であって、
ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、
前記読取手段にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、
前記認証処理手段での認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更する変更手段と、
を含むことを特徴とする携帯電話機。

【請求項 3 4】 ネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、利用するユーザーの個別認識を行うことのできる情報処理装置であって、
ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段を含み、
前記読取手段にて読み取られた認識情報に基づき認証し、利用するユーザー個別の設定条件をデフォルトの設定からユーザーに応じて変更することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 3 5】 ネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、利用するユーザーの個別認識を行うことのできる情報処理装置であって、
ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、
前記読取手段にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、
を含み、
利用するユーザー個別の設定条件をデフォルトの設定からユーザーに応じて変更することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 3 6】 利用するユーザーの個別認識を行うことのできる情報処理装置であって、
ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、
前記読取手段にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、
前記認証処理手段での認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更する

変更手段と、
を含むことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 3 7】 少なくとも一つのユーザー端末とネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、前記ユーザー端末を利用するユーザーの認識を行う情報認識方法であって、
前記ユーザー端末にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証を行うステップと、
10 認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更するステップと、を含むことを特徴とする情報認識方法。

【請求項 3 8】 少なくとも一つのユーザー端末とネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、前記ユーザー端末を利用するユーザーの認識を行う処理を記録した情報記録媒体であって、
前記ユーザー端末にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、
20 に基づき前記ユーザーに対する認証する処理を行う情報と、
認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更する処理を行う情報と、
を含むことを特徴とする情報記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】 本発明は、情報認識システム、デジタル撮像機器、店頭プリント装置、携帯電話機、情報処理装置、情報認識方法、及び情報記録媒体に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】 従来より、不特定多数のユーザーが使用することのできる端末として、例えばレンタル用のデジタルスチルカメラ（以下、D S C）、店頭プリント端末、インターネットカフェの端末、プリペイド式携帯電話などの各種の情報端末が存在する。

【0 0 0 3】 特に、インターネットカフェの端末やプリペイド式携帯電話においては、ある特定の一台の端末を、複数のユーザーが例えば匿名により使用することができようサービスを提供している場合もある。

【0 0 0 4】 これらの端末を使用する場合には、ユーザーは、自身の好みの設定条件あるいは端末を使用するための必須の設定条件を設定する必要がある。

【0 0 0 5】 例えば、レンタル用の D S C における設定条件としては、画像密度、日付の有無、好みの色合い等が挙げられる。また、インターネットカフェ等の端末においては、自分が使用する端末のブラウザ等の各種設定、ブックマーク、ブラウザのページ設定、文字の大きさ等の表示設定、オプションによる J A V A（登録商

標) VM等の設定、関連するリンク、専用のメールアドレスの設定、各種の段階的なセキュリティの設定、当該端末を管理運営している法人と契約しているプロバイダーと異なるプロバイダーを使用する場合などに利用するIPアドレス、モデムや電話番号の設定、IDやパスワードの設定などを行う必要がある。

【0006】さらには、プリペイド式携帯電話においては、新規に利用する際には、携帯電話を登録するための情報、例えば運営する法人が独自に定めている登録用の番号や暗唱番号等を、当該携帯電話を用いて操作入力により設定する必要がある。加えて、利用する際には、携帯電話の他に、特定の時間やデータ量に基づく金額が設定されたプリペイドカードを購入し、このプリペイドカードに記載された各種の情報をも設定入力することが行われている。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】ところで、上述のような不特定多数の者が使用することのできる端末においては、再度同じユーザーが同じ端末を利用しようとする場合には、ユーザーは、最初に利用する際に労力を要して各種の設定項目を設定したにも関わらず、使用後に当該端末が他のユーザーに使用されてしまうと、当初の設定条件とほぼ同様の設定を再度行わなければ、自身が希望する条件とならないケースが多々ある。最悪の場合には、再度設定を行わないと、端末を使用することができない場合も考えられる。

【0008】とりわけ、同じ端末を何度も利用するようなユーザーにとっては、使用する都度、自分の好みの条件を設定しなおす作業が必要であったため、設定作業のできないユーザーにとってみると作業が面倒であり、ユーザーの負担となっていた。

【0009】このようなことは、例えばインターネットカフェにて使用される端末に限らず、通常の企業や家庭において、1台の端末を複数のユーザーが兼用している場合などは、マルチユーザー対応のOSのような場合を除き、同様の問題が生じる。

【0010】さらに加えて、各ユーザーを識別する手法としては、ユーザーIDとパスワードによる認証が一般的であり、ユーザーは、使用する都度、ユーザーIDとパスワードを入力しなければならず、手間がかかっていた。

【0011】本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、不特定多数の者が使用することのできる端末を使用する場合に、使用する度に、各ユーザー個人の好みの条件を設定することを要せず、ユーザー認証の作業も面倒にならない情報認識システム、デジタル撮像機器、店頭プリント装置、携帯電話機、情報処理装置、情報認識方法、及び情報記録媒体を提供することにある。

【0012】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、請求項1に記載の発明は、少なくとも一つのユーザー端末とネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、前記ユーザー端末を利用するユーザーの認識を行うサービスを提供する情報認識システムであって、前記ユーザー端末にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、前記認証処理手段での認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更する変更手段と、を含むことを特徴としている。

【0013】また、請求項19に記載の発明は、少なくとも一つのユーザー端末と、前記ユーザー端末とネットワークを介して通信可能に接続されたサーバーと、を含み、前記サーバーは、前記ユーザー端末にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、前記認証処理手段での認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更する変更手段と、を含むことを特徴としている。

【0014】また、請求項24に記載の発明は、少なくとも一つのユーザー端末と、前記ユーザー端末とネットワークを介して通信可能に接続されたサーバーと、を含み、前記ユーザー端末は、ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、前記読取手段にて読み取られた前記認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、を含み、前記サーバーは、前記認証処理手段での認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更する変更手段を含むことを特徴としている。

【0015】また、請求項25に記載の発明は、ネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、利用するユーザーの個別認識を行うことのできるデジタル撮像装置であって、ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段を含み、前記読取手段にて読み取られた認識情報に基づき認証し、利用するユーザー個別の設定条件をデフォルトの設定からユーザーに応じて変更することを特徴としている。

【0016】また、請求項26に記載の発明は、ネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、利用するユーザーの個別認識を行うことのできるデジタル撮像装置であって、ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、前記読取手段にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する

認証処理を行う認証処理手段と、を含み、利用するユーザー個別の設定条件をデフォルトの設定からユーザーに応じて変更することを特徴としている。

【0017】また、請求項27に記載の発明は、利用するユーザーの個別認識を行うことのできるデジタル撮像装置であって、ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、前記読取手段にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、前記認証処理手段での認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更する変更手段と、を含むことを特徴としている。

【0018】また、請求項28に記載の発明は、ネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、利用するユーザーの個別認識を行うことのできる店頭プリント装置であって、ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段を含み、前記読取手段にて読み取られた認識情報に基づき認証し、利用するユーザー個別の設定条件をデフォルトの設定からユーザーに応じて変更することを特徴としている。

【0019】また、請求項29に記載の発明は、ネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、利用するユーザーの個別認識を行うことのできる店頭プリント装置であって、ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、前記読取手段にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、を含み、前記読取手段にて読み取られた認識情報に基づき認証し、利用するユーザー個別の設定条件をデフォルトの設定からユーザーに応じて変更することを特徴としている。

【0020】また、請求項30に記載の発明は、利用するユーザーの個別認識を行うことのできる店頭プリント装置であって、ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、前記読取手段にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、前記認証処理手段での認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更する変更手段と、を含むことを特徴としている。

【0021】また、請求項31に記載の発明は、ネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、利用するユーザーの個別認識を行うことのできる携帯電話機であって、ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段を含み、前記読取手段にて読み取られた認識情報に基づき認証し、利用するユーザー個別の設

定条件をデフォルトの設定からユーザーに応じて変更することを特徴としている。

【0022】また、請求項32に記載の発明は、ネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、利用するユーザーの個別認識を行うことのできる携帯電話機であって、ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、前記読取手段にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、を含み、利用するユーザー個別の設定条件をデフォルトの設定からユーザーに応じて変更することを特徴としている。

【0023】また、請求項33に記載の発明は、利用するユーザーの個別認識を行うことのできる携帯電話機であって、ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、前記読取手段にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、前記認証処理手段での認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更する変更手段と、を含むことを特徴としている。

【0024】また、請求項34に記載の発明は、ネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、利用するユーザーの個別認識を行うことのできる情報処理装置であって、ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段を含み、前記読取手段にて読み取られた認識情報に基づき認証し、利用するユーザー個別の設定条件をデフォルトの設定からユーザーに応じて変更することを特徴とする情報処理装置である。

【0025】また、請求項35に記載の発明は、ネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、利用するユーザーの個別認識を行うことのできる情報処理装置であって、ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、前記読取手段にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、を含み、利用するユーザー個別の設定条件をデフォルトの設定からユーザーに応じて変更することを特徴としている。

【0026】また、請求項36に記載の発明は、利用するユーザーの個別認識を行うことのできる情報処理装置であって、ユーザーを個別に認識するための認識情報を読み取る読取手段と、前記読取手段にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証処理を行う認証処理手段と、前記認証処理手段での認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録され

た設定情報に設定変更する変更手段と、を含むことを特徴としている。

【0027】また、請求項37に記載の発明は、少なくとも一つのユーザー端末とネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、前記ユーザー端末を利用するユーザーの認識を行う情報認識方法であって、前記ユーザー端末にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証を行うステップと、認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更するステップと、を含むことを特徴としている。

【0028】また、請求項38に記載の発明は、少なくとも一つのユーザー端末とネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、前記ユーザー端末を利用するユーザーの認識を行う処理を記録した情報記録媒体であって、前記ユーザー端末にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証する処理を行う情報と、認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更する処理を行う情報と、を含むことを特徴としている。

【0029】

【発明の実施の形態】以下、本発明の好適な実施の形態の一例について、図面を参照して具体的に説明する。

【0030】【第1の実施の形態】

(システムの全体構成) 先ず、本発明の情報認識システムの全体の概略構成について、図1を参照して説明する。図1は、本例の情報認識システムの全体の概略構成を示す説明図である。

【0031】本例の情報認識システム1は、図1に示すように、不特定多数の者が使用できる通信機能を備えたデジタルスチルカメラ(DSC)(デジタル撮像機器)などの複数のユーザー端末10(10-1~10-N)と、これらの各ユーザー端末10とインターネットなどのネットワーク40を介して相互に通信可能に接続されたサーバー30と、を含んで構成されている。

【0032】なお、ここで言うネットワークとは、コンピュータシステム、端末、データ通信設備を相互に接続したものをいう。接続は、専用回線、公衆回線などのような有線で接続されていても良いし、通信衛星などを通じて無線で接続されていても良いし、それらの複合形態で接続されていても良い。いわゆるインターネットやLAN(ローカルエリアネットワーク)などもネットワークに含まれる。

【0033】サーバー30には、不図示のLANなどを介してプリンタ30a(プリント手段)やデータ記録装置30bなどが接続されている。

【0034】(ユーザー端末)次に、ユーザー端末としてレンタル用のデジタルカメラ、より詳細にはデジタルスチルカメラを利用した場合を説明する。

【0035】図3は、デジタルカメラの一例としてデジタルスチルカメラの概要を示す機能ブロック図である。なお、本例では、レンタル用のDSCに認証機能を有した場合の例を開示しているが、この機能がなくても構わない。さらに、通信機能を備えた例を開示しているが、もちろん後述するインターフェース手段を介して携帯電話等の通信端末を接続した構成であってもよい。

【0036】以下、先ず、本例の特徴である個人認識認証読取装置の説明に先立って、デジタルスチルカメラ自体の構成の概要について説明する。

【0037】本例のユーザー端末10(デジタルスチルカメラ)は、図3に示すように、被写体の光画像を撮像する撮像レンズ、絞りなどを含む撮像手段である撮像光学系11aと、撮像光学系11aからの光画像を受光する光電変換手段である固体撮像素子11bと、固体撮像素子11b上に結像された画像情報を画像信号として読み出すために個体撮像素子11bを駆動する駆動回路13aと、画像信号をA/D変換するA/D変換回路11cと、A/D変換回路11cにて得られた画像データを一旦記憶する画像用メモリ12aと、画像用メモリ12aに記憶された画像データを、カメラ制御部15にて各種の画像処理が施され、最終的に画像毎に作製されたファイルを記憶する主メモリ12bと、撮影者が被写体の撮影範囲を確認するのに用いられ、被写体の画像情報を表示する画像表示部14aと、撮影時のストロボ調光・測光を行うストロボ調光測光部13bと、上述の駆動回路13a・A/D変換回路11c・画像用メモリ12a・主メモリ12b・ストロボ調光測光部13b・画像表示部14a・操作部14bなどカメラに関する制御を行うためのカメラ制御部15と、電池16aなどの電源から供給を受け、必要な電圧に変換して上記の各回路、光学系などへの電力の供給を行うための駆動電圧発生器16bと、を含んで構成される。

【0038】尚、カメラ制御部15は、インターフェース手段(232Cシリアルポート、USB、IrDA通信装置等)12cを介して、外部の各種機器等に対し、記憶手段である主メモリ12bに格納されたデータを転送でき、また受信することもできるようになっている。本例では後述するように通信機能を内蔵する構成を例に挙げているが、もちろん上記インターフェース手段12cを介して通信機器と接続し、各種データの送受信を行うことができる。あるいは、後述する個人認識情報読取装置20も内蔵する場合に限らず、上述のインターフェース手段を介して外部の個人認識情報読取装置を接続して情報の読み取りを行うこともできる。もちろん、インターフェース手段12cは、複数の外部機器を接続しても各外部機器を同時に処理できるような構成であること

は言うまでもない。また、インターフェース手段12cは、デジタルスチルカメラに装着されたメモリカードMCに記憶されたデータを読み込んで、カメラ制御部15を介して、主メモリ12bに送信できるようになっている。

【0039】また、本例のユーザー端末10（デジタルスチルカメラ）は、撮影レンズを含む撮影光学系11aを左右又は上下方向に回動するモータ等の回動手段（不図示）と、撮影光学系11aの回動方向を指示する撮影方向指示手段（不図示）とが前記の操作部14内に設けられていて、撮影方向指示手段からの指示によって撮影光学系11aが回動するよう構成している。撮影方向指示手段を押下することによって正逆回転を可能とする回動手段は正方向又は逆方向への回動を開始し、撮影方向指示手段の押下を解除することによって回動が停止するようカメラ制御部17は制御を行う。

【0040】上記のような構成のユーザー端末10（デジタルスチルカメラ）において、被写体の光画像は、レンズ、絞りなどから構成される撮像レンズを介して、固体撮像素子（CCD）11b上に結像される。固体撮像素子11b上に結像された画像情報は、駆動回路13aによって固体撮像素子11bより画像信号として読み出される。画像信号は、A/D変換回路11cによりA/D変換され画像用メモリ12aに格納されてカメラ制御部15で所定の画像処理がなされた後に、主メモリ12bにファイルとして格納される。この被写体の画像情報は液晶等を用いた画像表示部14aによって表示され、撮影者が被写体の撮影範囲を確認するのに用いられる。

【0041】（本発明の特徴的構成、個人認識情報読み取りの制御系について）ここで、本発明の特徴、すなわち、個人認識認証読取装置の具体的構成について図3を用いて説明する。

【0042】本例のユーザー端末10（デジタルスチルカメラ）は、上述のカメラ特有の構成に加えて、例えばデジタルスチルカメラ本体に人体の一部をスキャン可能に配設され、個人認識情報を読取可能な個人認識情報読取部22と、この個人認識情報読取部22にて読み取られた個人認識情報や各種の情報をサーバー30との間で送受信するための送受信手段18bと、前記送受信手段18bでの情報の授受を制御する通信制御部18aと、サーバー30もしくはユーザー端末10にて認証が行われた結果、端末の使用を許可して使用制限を解除して使用可能とするための認証許可部26と、認証許可部26にて使用可能となった場合に予め設定されたユーザーに応じた設定条件での設定を自動的に行うための個人情報設定部17と、これらの各部の制御を司る個人認識認証制御部24と、を含んで構成されている。

【0043】なお、これらのうち、例えば、個人認識認証制御部24と通信制御部18aとカメラ制御部15とで例えば一のMPUで制御処理するようなハードウェア

構成（制御手段）とすることもできる。また、個人認識情報読取部22、認証許可部26、個人認識認証制御部24とで、読取手段である個人認識情報読取装置20を構成できる。

【0044】個人認識情報読取部22は、例えばバイOMETRICS情報が読み取り可能な小型のスキナ等にて形成され、電源投入時に他の各部の起動に先立って起動するように構成される。なお、「個人認識情報」としては、例えばバイOMETRICS情報等が好ましい。また、バイOMETRICS情報としては、例えば、指紋、虹彩、声紋、眼底、掌紋、網膜、整脈パターン、顔のパターン認識等、その他比較可能な生物計測学的情報等が挙げられる。従って、これらのうちのいずれかの読取装置、例えば、指紋読取装置、虹彩読取装置、声紋読取装置、眼底読取装置、掌紋読取装置、網膜読取装置、整脈パターン読取装置、顔のパターン認識読取装置であることが好ましい。

【0045】個人認識認証制御部24は、電源投入あるいは操作部14bの操作入力に基づき、個人認識情報読取部22を動作可能な状態にするようにカメラ制御部15を制御し、個人認識情報読取部22にて読み取られた個人認識情報を主メモリ12bに格納する一方、当該個人認識情報を通信制御部18aに対して供給して前記個人認識情報のサーバー30に対する送信を促すとともに、サーバー30にて認証された認証結果情報を通信制御部18aから授受し、前記認証結果情報が認証許可である場合には認証許可部26に対して認証許可である旨の信号を供給し、前記認証結果情報が認証不可である場合には認証許可部26に対して信号を供給する制御を行い、通常の使用時においては、各種の設定条件による設定情報を、主メモリ12bに格納するようにカメラ制御部15を制御し、設定情報が格納された後においては、主メモリ12bの特定領域にて前記設定情報が消去されないように保持する制御を行うものである。

【0046】さらに、個人認識認証制御部24は、認証許可でない場合には、主メモリ12bに一時格納されていた個人認識情報を消去するとともに、認証許可である場合には、主メモリ12bに格納された個人認識情報と、設定情報とを対応させてテーブル化を促すように制御する機能も有している。

【0047】認証許可部26は、電源投入後であって認証が許可される前の状態においては、各部が駆動停止してロック状態、特に操作部14bの操作入力によりカメラの撮像が行われなようにカメラ制御部15や駆動電圧発生器16bなどを制御し、認証が許可された状態においては、個人認識認証制御部24からの認証許可である旨の信号に基づき、前述のロック状態を解除して、カメラ制御部15や駆動電圧発生器16bを通常の制御状態として、操作部14bの操作入力に基づき被写体を撮像可能とするように制御するものである。

【0048】通信制御部18aは、送信時にあっては、個人認識認証制御部24からの個人認識情報を送受信手段18bに対して供給し、前記個人認識情報のサーバー30に対する送信を促すように制御する一方、受信時にあっては、送受信手段18bを介してサーバー30から供給される認証結果情報を個人認識認証制御部24に対して供給するとともに、認証許可である場合には、認証許可部26にてロック状態が解除された後に、認証許可部26から個人認識認証制御部24を介して供給される解除終了信号に基づき、個人情報設定部17の動作を開始させるような制御を行うものである。

【0049】個人情報設定部17は、認証許可部26から個人認識認証制御部24、通信制御部18aを介して通知あるいは供給される解除終了信号によって動作を開始し、主メモリ12bに格納してあったユーザー別に対応した各設定条件に関する各設定情報の中からいずれのユーザーの設定情報であるかを、同じく主メモリ12bに格納してあった前記個人認識情報に基づき、対応する設定情報を抽出して、現在の設定を前記設定情報の設定となるようにカメラ制御部に対して指示制御する機能を有する。

【0050】送受信手段18bは、ユーザー端末10とサーバー30とを有線又は無線あるいはその組み合わせによって通信可能とするための各種インターフェースを含む。

【0051】上記のような構成を有する端末の動作の概略を説明すると、先ず、電源投入あるいは操作部14bの操作入力によって、個人認識認証制御部24が個人認識情報読取部22を動作可能な状態となるように制御される。

【0052】ただし、認証許可部26によってカメラ制御部15、駆動電圧発生器16bなどが管理され、他の各部は使用できないようにロックされた状態となっている。

【0053】次に、個人認識認証制御部24にて個人認識情報が読み取られると、当該個人認識情報は、個人認識認証制御部24を介して主メモリ12bに格納される一方、前記個人認識情報は、個人認識認証制御部24、通信制御部18a、送受信手段18bを介してサーバー30側に送信される。

【0054】そして、サーバー30側にて種々の認証処理が行われ、サーバー30からのこの認証結果情報がユーザー端末10の送受信手段18bにて受信される。すると、前記認証結果情報は、通信制御部18aを介して個人認識認証制御部24に伝達され、個人認識認証制御部24は、認証結果が認証許可である場合にのみ認証許可部に対して認証許可である旨の信号を供給する。

【0055】加えて、認証許可である場合には、主メモリ12bに格納された個人認識情報と、設定情報とを対応させてテーブル化を促すように制御する。

【0056】認証許可である旨の信号を受けた認証許可部26は、ロック状態を解除して、カメラ制御部15や駆動電圧発生器16bを通常の制御状態として、操作部14bの操作入力に基づき被写体を撮像可能とするように制御するものである。

【0057】なお、認証が許可とならない場合には、認証結果情報を個人認識認証制御部24が受け取ると、個人認識認証制御部24は、主メモリ12b内の個人認識情報を消去するとともに、認証許可部に対しては現状のロック状態を保持するような制御を行う。

【0058】次に、ユーザー端末10が撮像可能状態になると、ユーザーは自身が所望する設定条件にて設定を行いつつ、撮像を行うこととなる。なお、この設定条件に関する設定情報は、主メモリ12bに格納される。この際、個人認識認証制御部24は、当該ユーザーと対応する形で前記設定情報が格納されるように、カメラ制御部15あるいは主メモリ12bに対して指示する。

【0059】さらに、本例のユーザー端末10が前記ユーザーによって利用された後、他のユーザーによって利用され、再度前記ユーザーが利用しようとして認証が許可されたような場合には、個人情報設定部17は、ユーザーに対応する設定情報に基づき、カメラ制御部15を制御して、当初の設定条件が再現できるように設定更新する。

【0060】なお、ユーザー端末10（デジタルスチルカメラ）の個人設定条件の個人設定情報としては、例えば記録画像密度、日付、カラーマネジメント、フラッシュのオンオフ設定等が挙げられる。

【0061】（処理手順について）次に、上述のような構成を有する情報認識システム1の全体の処理手順について、図2及び図4を参照しつつ説明する。

【0062】先ず、予め、ユーザー端末10を用いてユーザーは、ユーザー登録を行う（ステップ、以下「S101」）。この際、ユーザーのクレジットカード番号、住所等の入力を行ってもよい。次に、バイオメトリクス認証を行うための、ユーザーに関するバイオメトリクス情報を不図示のスキャナ等にて読み取るバイオメトリクス情報読取処理を行う（S102）。

【0063】さらに、ユーザーに応じた個人設定を行う（S103）。すなわち、本端末は、マルチユーザーの利用が行うことのできる端末である。

【0064】上述のS101～S103にて入力された、ユーザー情報、バイオメトリクス情報、個人設定情報は、ユーザー端末10での送信操作等に基づき、ユーザー端末10からサーバー30に対して転送され、当該サーバー30にリンクする不図示のデータベースに格納され、登録処理が行われる（S104）。

【0065】次いで、登録完了通知がサーバー30からユーザー端末10に対して送信され、当該登録の旨がユーザーに認識されると、ユーザーは、ユーザー端末10

の利用を行うことができる。そして、ユーザー端末10の利用を開始することとなる(S105)。

【0066】ユーザー端末10の利用開始時においては、ユーザーの認証を行うため、ユーザー端末10にはバイOMETRICS情報の入力を促す指示が表示され、不図示のスキヤナ等にてバイOMETRICS情報の読み取り処理が行われることとなる(S106)。

【0067】この読み取られたバイOMETRICS情報は、サーバー30に対して送信され、サーバー30にて、ユーザー端末10利用開始時に読み取られたバイOMETRICS情報と、予め登録時に登録されたバイOMETRICS情報とが整合もしくは一致するか否かの認証処理が行われる(S107)。

【0068】なお、この認証処理を行う処理プログラムは、例えば認証(処理)手段を構成でき、認証がバイOMETRICS情報の場合には、バイOMETRICS認証(処理)手段、さらには、端末側の読取装置の形態に応じて、指紋認証(処理)手段、虹彩認証(処理)手段、声紋認証(処理)手段、眼底認証(処理)手段、掌紋認証(処理)手段、網膜認証(処理)手段、整脈パターン認証(処理)手段、顔のパターン認識認証(処理)手段、を構成できる。なお、端末側で認証を行う場合には、これらの各手段を端末側に構成することとなる。

【0069】次に、サーバー30は、当該認証結果に基づき、予め登録された個人設定情報(及び認証結果情報)を不図示のデータベースから呼び出して、ユーザー端末10に対して送信する個人設定情報送信処理を行うこととなる(S108)。この際、個人認識情報に加えて、ユーザー端末10内のメモリ内の設定情報を、現在ユーザー端末10を使用しているユーザーの個人設定情報に書き換える個人設定情報更新プログラムをも送信することもできる。

【0070】なお、予め個人設定情報更新プログラム等をユーザー端末10に内蔵してあるものであれば、サーバー30は、当該個人設定情報更新プログラムを起動させる指示(コマンド、命令)のみを送信してやればよい。

【0071】そして、ユーザー端末10にて、前記個人設定情報が受信されると(S109)、当該個人設定情報に基づき、デフォルトで設定されていた情報を更新する処理が行われることとなる(S110)。

【0072】なお、変形例として、サーバー30側で、個人設定情報を管理し、ユーザー端末10側では、常時個人設定情報が最新のものであるのかをサーバー30に対して定期的にアクセスする構成とし、サーバー30側で個人設定情報の更新することによってユーザー端末10の設定をユーザーに応じて変更する場合には、更新する処理(個人設定情報を変更する処理)は、サーバー30側で行うこととなる。この場合、この変更する処理を行う処理プログラムは、例えば変更手段を構成する。

【0073】以上のように本実施の形態によれば、機器使用者にとっては、従来の認証等の面倒な操作を行うことなく、自分の好みにあわせた設定やプリントサービスが受けられ、不特定多数の者が使用することのできる端末を貸し出す機器貸し出し会社は、他のチェーン店でも同様サービスを提供することができ、リピーターの増加、収入の増加が望める。

【0074】さらに、ユーザーの認証には、バイOMETRICS認証(指紋照合、眼底照合、声紋照合)等を使用しているので、従来のようなIDとパスワードによる認証は不要となり、ユーザーは、面倒な操作を必要とせず、認証を意識することなく容易に認証処理を行うことができる。

【0075】また、一つの機器を複数の異なるユーザーが使用するような状況においても、使用する度に、認証に基づき予め登録された各ユーザー個人の好みの条件が自動的に設定されるので、認証が気にならないのに加えて、設定する操作をも要しないので、設定の手間が省ける。

【0076】なお、本例では、デジタルカメラに通信機能を備えた構成としたが、通常のデジタルカメラの外部インターフェース手段を介して携帯電話(もしくはPHS、モバイル端末)等を接続し、デジタルカメラと携帯電話とで一つのユーザー端末として形成することも一向に構わない。

【0077】[第2の実施の形態] 次に、本発明にかかる第2の実施の形態について、図5に基づいて説明する。なお、以下には、前記第1の実施の形態と実質的に同様の構成に関しては説明を省略し、異なる部分についてのみ述べる。図5は、本例の情報認識システムの全体の概略構成を示す説明図である。

【0078】上述の第1の実施の形態では、端末としてデジタルスチルカメラを用いた例を開示したが、本例では、インターネットカフェ等におけるコンピュータの端末の例を開示している。具体的には、本例の情報認識システム100は、図5に示すように、不特定多数の者が使用できブラウジング機能を備えたパーソナルコンピュータなどの複数のユーザー端末110(110-1~110-N)と、これらの各ユーザー端末110とインターネットなどのネットワーク40を介して相互に通信可能に接続されてサーバー30と、を含んで構成されている。

【0079】なお、ここで言うネットワークとは、コンピュータシステム、端末、データ通信設備を相互に接続したものをいう。接続は、専用回線、公衆回線などのような有線で接続されていても良いし、通信衛星などを通じて無線で接続されていても良いし、それらの複合形態で接続されていても良い。いわゆるインターネットやLAN(ローカルエリアネットワーク)などもネットワークに含まれる。

【0080】サーバー30には、不図示のLANなどを介してプリンタ30a（プリント手段）やデータ記録装置30bなどが接続されている。

【0081】なお、情報認識システムにおける処理全体の流れは、上述の第1の実施の形態と同様であるので、その説明は省略する。また、ユーザーユーザー端末10の詳細な構成等については、後述する。

【0082】（表示画面と個人設定可能な設定項目）先ず、ユーザー端末に表示される画面について説明するとともに、当該画面においてユーザーが固有に設定する設定事項について説明する。

【0083】図6には、ユーザー端末の表示画面に表示されるブラウザを画面の一例が開示されている。

【0084】同図に示すように、ブラウザの画面200（ウィンドウ）では、大きく分けると、ユーザーが各種の操作を行うための操作部204と、ブラウジングによって取得されたコンテンツを表示するコンテンツ表示部202との各領域が形成されている。

【0085】操作部204は、ブラウジングに必要な各種コンテンツに対する操作やその他の種々の操作を表示画面上からクリックなどにより行う領域であり、複数の操作ボタン（操作部）が形成されている。具体的には、操作部204の最上段のエリアには、ファイルシステムにおける各種ファイル自体に対する操作を行うためのファイル操作部210と、画面上に表示されているコンテンツに対する編集を行うための編集操作部211と、画面上に表示されているコンテンツの表示に関する表示レイアウトを設定操作するための表示操作部212と、ユーザー自身が好みに応じて設定した各種アドレスのホームページをリスト化したブックマークを呼び出すためのブックマーク操作部213と、選択されているホームページと関連するリンク先のアドレスを表示するためのリンク表示部214と、ブラウザに対する各種の設定を行うための機能としてオプションとして形成されているオプション操作部215と、ブラウザの操作に関する説明を記したヘルプ画面を呼び出すためのヘルプ操作部216などが形成されている。

【0086】また、操作部204の中段には、ユーザーがブラウジングしていく過程において、現在ブラウザに表示されているコンテンツよりも、前にブラウザに表示されていたコンテンツを表示するように戻すための操作を行う戻る操作部217と、一度戻った場合に、前のコンテンツに再度進むための操作を行う進む操作部218と、メインのホームページを表示させるためのホーム操作部219と、コンテンツを更新するための更新操作部220と、コンテンツを印字手段にて印刷出力するためのプリント操作部221などが形成されている。

【0087】さらに、操作部204の最下段には、例えばHTTPプロトコルやFTPプロトコルなどによって接続可能なアドレスを入力するためのアドレス操作入力

部が形成されている。

【0088】なお、ブックマーク操作部213を選択すると、この操作部の下欄にユーザーが予め登録した複数のブックマーク213a、213b・・・が一覧表示され、ユーザーがいずれか一つの所望のブックマークを選択することにより、アドレス入力を行うことなく対応するホームページを閲覧可能としている。

【0089】オプション操作部215は、図示はしないが、ブラウザ立ち上げ時に表示されるホームページのアドレスを設定するためのアドレス設定部、いわゆるキャッシュに蓄積されるインターネット一時ファイルなどを格納する領域や当該ファイルの削除などの指示を設定する一時ファイル設定部、ホームページ閲覧の履歴における保存日数その他を設定する履歴設定部、ブラウザ表示における言語の優先順位を設定する言語設定部、Webページフォントや言語設定などの設定を行うフォント設定部、表示・未表示の文字の色や背景などの色を設定するための色設定部、Webにおけるセキュリティのレベルを設定するためのセキュリティ設定部、コンピュータから表示できるインターネットの内容を制御するためのコンテンツ制御設定部、LAN設定やプロバイダとのダイヤル接続設定を行うための接続設定部、各インターネットサービスで自動的に使用されるプログラム（複数プログラムがある場合には）、例えばアプリケーションにおいてHTMLエディタはAプログラム、電子メールやニュースグループはBプログラム、インターネット通話はCプログラム、カレンダーなどを表示するのはDプログラム、連絡先一覧などの表示するのはEプログラム、等という具合にブラウザに関連するアプリケーションに応じてプログラムの設定を行うための自動使用プログラム設定部、JAVAVM（ジャババーチャルマシン）に関する設定・プロキシ接続の有無の設定・アドレスを検索するときの検索に関する設定・SSL（セキュアショックレイア）や暗号化されたページをディスクに保存しないなど各種のセキュリティの詳細設定・URLを簡易表示するなどのブラウザの詳細設定・サウンドやビデオなどのマルチメディア機能に関する設定・ユーザー補助の設定・背景の色なども印刷するようにするか否かの印刷設定・アクティブXコントロールとプラグイン、クッキー、JAVAアプレットのスクリプトなどが有効であるか無効であるか、ソフトウェアチャンネルの許可、デスクトップ項目のインストールの許可、ドメインの異なるサブフレーム間の移動の有無、暗号化されていないフォームデータの送信、ファイルやフォントのダウンロードの有無等の詳細設定部、などが形成されることが好ましい。

【0090】このように、本例のブラウザでは、ユーザーが独自に設定する項目としては、上記のような各種操作部での設定入力項目がある。

【0091】ここで、本例において特徴的なことは、一

度ユーザー登録をした後にブラウジングを行うと、当該ブラウジングの際に設定された、これらのユーザー独自の設定項目を、ブラウジングを一旦終了し再度開始するときには、所定の認証を行うことにより前回と全く同様に設定されているために、再設定が不要となることにある。

【0092】なお、ネットワーク上の認証プロセスやその処理については、上記第1の実施の形態と同様であり、また、ユーザー端末を上記第1の実施の形態の場合のデジタルカメラに代えて、パーソナルコンピュータと

【0093】（端末の詳細な構成）以下に、上記のユーザー端末のソフトウェアおよびハードウェアの構成の詳細を説明する。

【0094】本例のユーザー端末110（コンピュータ）は、図7に示すように、大別してハードウェアシステム112、オペレーティングシステム120、プロトコル管理部124、読取装置用ドライバ130、アプリケーションソフトウェア140を含んで構成される。

【0095】ハードウェアシステム112は、典型的には、ユーザー端末110の物理的コンポーネントを含む。乃ち、ハードウェアシステム112は、種々の情報等を表示するための表示手段である表示部114bと、コンピュータを動作させるとともに、表示部114bの表示画面上にてデータ入力等を行うための操作入力手段である操作部114aと、各種データを記憶するための記憶手段である記憶部114c、データを送受信するための送受信手段である通信部114dと、バイオメトリクス情報等の個人を識別できる情報を読み取るための個人認識情報読取装置115と、これら各部の制御を司る制御手段である不図示の中央演算処理ユニット（CPUまたはプロセッサ）と、これらのインターフェースである入出力インターフェース114e、表示インターフェース114f、記憶インターフェース114g、ネットワークインターフェース114hと、を含む。

【0096】操作部114aは、例えば、キーボードおよび／またはマウス等のポインティングデバイス等にて形成され、これらを経由してコンピュータへ入力を提供できる。

【0097】記憶部114cは、フロッピー・ディスク、ハードディスク・ドライブ、光磁気ディスク・ドライブ、磁気テープ、CD-ROMと他の多数の不揮発性記憶デバイス、ランダム・アクセス・メモリ（RAM）、スタティックRAMまたはキャッシュとリード・オンリー・メモリ（ROM）、の少なくともいずれかを含んでいてよい。

【0098】通信部114dでは、モデム通信経路、コンピュータ・ネットワーク、またはインターネット等の

ような有線又は無線の通信チャンネルを使用して1台または2台以上の他のコンピュータへ接続できる。さらに、プロッタ、印刷装置、レーザー印刷装置、およびその他の複写装置等を含む数種類の出力デバイスのいずれかをコンピュータに接続することが出来る。

【0099】表示インターフェース114fは、例えばビデオ・インタフェース／アダプタ等にて形成され、表示部114bに接続されて、表示部114bでの表示のためにコンピュータ・モジュールからビデオ信号を提供する。画像またはビデオ取り込みデバイスを、デジタル画像またはビデオシーケンスのソースとして、インターフェース経由でコンピュータ・モジュールへ、任意に接続することができる。

【0100】個人認識情報読取装置115は、例えばバイオメトリクス情報が読み取り可能な小型のスキャナ等にて形成され、本例においては例えばブラウザ等の起動に基づき動作する。なお、「個人認識情報」としては、例えばバイオメトリクス情報等が好ましい。また、バイオメトリクス情報としては、例えば、指紋、虹彩、声紋、眼底、掌紋、網膜、整脈パターン、顔のパターン認識等、その他比較可能な生物計測学的情報等が挙げられる。従って、これらのうちのいずれかの読取装置、例えば、指紋読取装置、虹彩読取装置、声紋読取装置、眼底読取装置、掌紋読取装置、網膜読取装置、整脈パターン読取装置、顔のパターン認識読取装置であることが好ましい。

【0101】オペレーティングシステム120は、ハードウェアの動作を処理し、各種タスクを実行するためコンピュータ110内部に適用される管理ソフトウェア、例えば、操作部114aから入出力インターフェース114eを経由して、ユーザーが起動した制御信号を受信する入出力管理部122aと、描画管理部122bと、ファイル管理部122cと、を含んで構成される。

【0102】入出力管理部122aは、ユーザーのコマンドを処理して、その時点で動作しているアプリケーションソフトウェア140、この場合にはブラウザ200へ転送する。ブラウザ200は、オペレーティングシステム120に含まれるファイル管理部122cへの出力を含む。

【0103】ファイル管理部122cは、それぞれハードウェアシステム112内部でディスク／Oインターフェース等の記憶インターフェース114g経由でアクセスされる記憶部114c上に記憶されるファイルやフォルダへのアクセスを提供する。

【0104】描画管理部122bは、アプリケーションソフトウェア140からの画像コンポーネントに基づき、表示インターフェース114f経由で表示部114bへの画像表示等を提供する。つまり、オペレーティングシステム120は、内部で動作するファイル管理部122cへのインタラクティブなグラフィカル・ユーザ・

インターフェースとしてコンポーネントとして含まれているコンテンツの表示を提供できる。

【0105】プロトコル管理部124は、例えばTCP/IP等が実装されており、通信部114dからネットワークインターフェース114hを介して授受されるパケット等を所定のプロトコルに従って収集データ復元化又はその逆を行い、オペレーティングシステム120を介して、もしくは直接アプリケーションソフトウェア140との間でデータの通信制御を管理する。

【0106】読取装置用ドライバ130は、個人認識情報読取装置115を動作させるためのソフトウェアドライバである。

【0107】アプリケーションソフトウェア140は、ユーザーが希望するタスクを実行するように設定された特定のルーチンを含む。オペレーティングシステム120とアプリケーションソフトウェア140は、永久的記憶デバイスまたはメモリ等の記憶部114cに常駐させるか、または記憶部114cへ一時的にロードすることが出来る。

【0108】アプリケーションソフトウェア140では、ブラウザ200と、ブラウザ200とは別に形成され、ブラウザ200における上記の各種の設定を更新制御するための設定更新部150と、個人認識情報読取装置115を例えばブラウザ200の起動時に動作させる際のメッセージや警告等の表示を行うためプログラム、読取装置用のソフトウェアである読取装置用アプリケーションソフトウェア152と、ブラウザ200、読取装置用アプリケーションソフトウェア152等のプログラム使用時に表示されるUI（ユーザーインターフェース）を表示するためのUIモジュール160などが形成されている。もちろん、この他、各種アプリケーションソフトウェアが搭載されている。

【0109】本例において、ブラウザ200は、付図示の多数のコンポーネントを含む。さらに、ブラウザ200には、上述の各種の設定条件230を設定するためのプログラム等を含む。

【0110】設定更新部150は、上述の認証が許可されたユーザーがブラウザ200を使用する際に、現在設定されているブラウザ200の上記各種設定項目を、以前使用したことのあるユーザーが設定した設定条件に強制的に書き換えるための専用のプログラムである。

【0111】（端末の処理）このような構成のユーザー端末110（コンピュータ）において、ブラウザ200を起動させる（アイコン等のクリックを行う）と、読取装置用アプリケーションソフトウェア152が動作し、ユーザーを識別するための認証が必要である旨の表示が表示部114bに表示される。

【0112】ここで、ユーザーがユーザー登録を行っていない場合には、ユーザー登録を行い、当該登録された情報が、通信部114dを介してサーバー30に転送さ

れる。この登録時には、ユーザーは、読取装置用アプリケーションソフトウェア152が表示する各種の指示に従って、個人認識情報例えば指紋等のスキャンや住所等の入力を順次行うこととなる。

【0113】次に、登録がなされた場合、あるいは既に登録が完了しているユーザーに対して、読取装置用アプリケーションソフトウェア152は、本人であることを確認するために、個人認識情報読取装置115による指紋等スキャンを指示する旨の表示を行う。

【0114】ユーザーが指示に従って、スキャンを行うと、個人認識情報読取装置115にて読み取られたユーザーの個人認識情報は、読取装置用アプリケーションソフトウェア152の指示に従って通信部114dを介してサーバー30に転送される。

【0115】サーバー30では、上記第1の実施の形態同様に、予め登録された情報と、読み取られた情報に基づき認証処理が行われる。認証結果がサーバー30からユーザー端末110に対して通知されると、認証結果が認証許可である場合には、読取装置用アプリケーションソフトウェア152は、ブラウザ200の使用を許可し、ブラウザ200の起動処理が途中停止されていたものを再度開始する処理を行い、ブラウザ200の画面が表示されることとなる。

【0116】一方、認証結果が認証不許可である場合には、読取装置用アプリケーションソフトウェア152は、当該ユーザーに対してはブラウザ200の起動を停止して使用を禁止し、警告などを表示するとともに、当初のソフトウェア152のメニュー画面もしくは、通常のパソコンのメニュー画面等に戻る処理を行う。

【0117】認証許可でブラウザ200の起動処理が再開された場合には、上記認証結果情報とともに送信されてくる個人設定情報（認証結果が不許可である場合にはサーバー30側で予め認証結果情報のみ送信するように処理される）に基づいて、設定更新部150は、現在設定されているブラウザ200の設定条件230の条件情報を当該個人設定情報に対応するように書き換えて更新する処理がなされる。

【0118】これらの処理は、ブラウザ200の起動前に行っても、起動中に行っても、起動後に行ってもよい。

【0119】このように、アプリケーションソフトウェアとして、読取装置用アプリケーションソフトウェア、設定更新部を形成したことにより、異なるユーザーがこのコンピュータを使用する場合にも、所定の認証によってユーザーを、識別するとともに、各ユーザーに対応した設定条件を設定条件ファイルとして予めハードディスクに記憶しておき、認証後にお当該設定条件ファイルを読み出すことによって、ブラウザを構成する設定ファイルを書き換えることで、各ユーザーに対応した設定条件を随時あわせて利用することができる。

【0120】以上のように本実施の形態によれば、上記第1の実施の形態と同様の作用効果を奏しながらも、使用者にとっては、従来の認証の面倒な操作を行うことなく、認証後には、自分の好みにあわせた設定が自動的になされて使用できる。特に、マルチユーザー用のOSでないパソコンにおけるブラウザ等の複雑な個人による設定も、一度設定すれば、不特定多数の者が使用した後に、再度利用する際に再設定を要しない。

【0121】なお、上述の例では、アプリケーションソフトウェアとしてブラウザを例に挙げて説明したが、これに限定されるものではなく、他の種々のアプリケーションソフトウェアにおいても各ユーザーに応じた設定項目に書き換えることを行うことができる。

【0122】さらに、設定更新部と読取用アプリケーションソフトウェア並びに読取装置用ドライバを一つのソフトウェアとして、さらには、サーバー側の認証処理、個人設定情報DB処理等を行うソフトウェアを加えて一つのソフトウェアとしても構成でき、このソフトウェアを種々の情報記録媒体に記録することもできる。

【0123】さらにまた、認証処理はサーバー側で行う例を説明したが、端末側で認証処理を行う構成であってもよい。その場合には、認証処理用のソフトウェアをアプリケーションとして組み込めばよい。

【0124】またさらに、上述の例ではブラウザの使用をプロテクトする例について説明したが、コンピュータ自体を、ハードウェア的にプロテクトする際に、前記個人認識情報読取装置を使用する構成であってもよい。この場合には、個人認識情報読取装置をコンピュータ本体と別体又は一体内蔵の構成とし、個人認識情報読取装置内に、上述の設定更新部、読取用アプリケーションソフトウェア、読取装置用ドライバ、認証処理、個人設定情報DB処理等を行うソフトウェア、通信、記憶その他の機能をソフトウェア的又はハードウェア的もしくはその組み合わせにより搭載した一つの装置として実現することが好ましい。すなわち、独自のリアルタイムOS等を搭載した構成であってもよい。これにより、コンピュータに依存しない独自動作が可能となる。

【0125】〔第3の実施の形態〕次に、本発明にかかる第3の実施の形態について、図8に基づいて説明する。図8は、本例のシステムの全体構成を示す説明図である。

【0126】上述の第1の実施の形態では、ユーザー端末としてデジタルカメラを例示したが、本例では携帯電話（より詳細にはプリペイド式携帯電話）を使用する場合について開示されている。

【0127】具体的には、本例の情報認識システム300は、複数の携帯電話310（310-1～310-N）と、これら携帯電話310とネットワーク40を介して通信可能なサーバー30と、を含む。なお、サーバー30などの構成は上述の各実施の形態とほぼ同様の

でその詳細な説明は省略する。

【0128】さらに、本例では、端末の形態が携帯電話となったのみで、他の処理、特に、情報認識システム300全体の処理手順は、上述の各実施の形態とほぼ同様であるので、その詳細な説明は省略する。

【0129】携帯電話310は、例えば3MHz以上の広帯域符号分割多元接続方式を用いて通信を行う携帯電話にて形成することが好ましく、レイク通信、セル間のソフトハンドオーバーなどが可能であると、高画質な画像データを送信する場合にも通信速度が速くさらに好ましい。ここで、「レイク通信」とは、電波の反射などによって受信時に位相差、時間差がついた信号成分を別々に取り出し、位相、時間をそろえて合成する受信方法をいう。また、列車内などにおいて、移動しながら利用している場合には、途中で電波が居かなくなってしまうこともあり得るが、通常は基地局をコントロールしている「制御局」の指示で「ハンドオーバー」が行われ、この「ハンドオーバー」により、端末はいつも近い基地局と更新できるようになっている。

【0130】「広帯域CDMA」は、チップレートを上げるなどして、CDMA方式以上に広い帯域に信号を拡散し、狭いものでも3MHz、たいていは5MHz位の帯域を使用する。これにより、マルチパス干渉に強くなり、干渉波・妨害波・雑音に強くなり、送信電力を抑えられ、電波の到達距離が長くなるというものである。

【0131】携帯電話310は、図9に示すように、種々の情報等を表示するための表示手段311と、表示手段311の表示画面上にてデータの操作入力等を行うための操作手段312と、各種データを記憶するための記憶手段313と、データを送受信するための送受信手段318と、通話時の音声入力、出力を行うための音声入出力手段314と、バイオメトリクス情報等の個人を識別できる情報を読み取るための個人認識情報読取手段322と、この個人認識情報読取手段317にて読み取られた個人認識情報を、デジタルデータに変換するとともにユーザーに対応する形で記憶手段313に一時記憶したり、送受信手段318などを介して送信するように制御する個人認識認証制御手段324と、操作手段312等にて設定された記憶手段313に記憶されたデフォルトの設定情報を、サーバー30側に予め登録されたユーザーの個人設定情報を送受信手段318を介して受信することにより書き換え更新処理を行う設定情報更新手段317と、これら各部の制御を司る制御手段315と、を含んで構成される。

【0132】なお、制御手段317と個人認識認証制御手段324とで一CPUを形成してもよい。さらには、個人認識情報読取手段322と個人認識認証制御手段324とで個人認識情報読取装置320を構成できる。

【0133】このような携帯電話310において、ユー

ザーに応じた個人設定が可能な設定情報としては、例えば、表示画面のレイアウト（どのマーク、情報を表示させるか）、着メロの選択などが挙げられる。

【0134】上述のような構成の携帯電話310において、まず、使用開始時には、ユーザー登録が必要であり、例えばプリペイド式携帯電話である場合には、購入時の登録の際に必要な情報（当該携帯電話を使用可能とするような各種の情報）の登録に加え、個人認識情報読取手段322にて読み取られる個人認識情報、並びに、ユーザーの固有の個人設定情報（例えば着メロの種類等）を設定し、管理するサーバー30に対して送信する。

【0135】この際、操作手段312の読取ボタン等を押下することによって読み取り可能となり、読み取り動作を開始し、個人認識情報読取手段322にて読み取られた個人認識情報は、個人認識認証制御手段324によって、デジタルデータ等に変換されて、例えば記憶手段313に一時記憶され取り込みが完了する。次に、操作手段312の送信ボタン等を押下することによって、記憶手段313に記憶された個人認識情報は、制御手段315によって送受信手段318を介してサーバー30に向けて送信されることとなる。

【0136】サーバー30では、読み取られた個人認識情報を、ユーザー別にデータベース等に格納することとなる。

【0137】一方、個人設定情報に関しても、操作手段312によって操作された個人設定情報は、常時サーバー30側に送信され、データベースにてユーザー別に格納されることとなる。

【0138】このような登録等がなされた後に、再度ユーザーが当該携帯電話を使用しようとする場合には、操作手段312の電源投入ボタン等の押下に基づき、表示手段311には、個人認識情報例えば指紋等の入力を指示する表示がなされるように個人認識認証制御手段324が制御する。

【0139】そして、上記登録時とほぼ同様の手順で、個人認識情報の読み取りが行われ、当該個人認識情報は、サーバー30側に送信される。サーバー30側では、上記各実施の形態同様に、当該個人認識情報とデータベースの予め登録された個人認識情報とに基づき認証処理を行うこととなる。

【0140】そして、認証結果が認証許可である場合には、認証が許可である旨の認証許可情報と前記個人設定情報とがサーバー30より携帯電話310に送信されることとなる。なお、この送信の際、予めユーザー登録時に当該携帯電話310の電話番号情報等もユーザー別にデータベースに登録されているので、送信先の携帯電話310の特定は容易になされる。

【0141】次に、送受信手段318を介して受信された認証許可情報を、個人認識認証制御手段324が認知

すると、制御手段315に対して使用を可能とする旨の信号（使用可能信号）を供給することで携帯電話312の各部が使用可能となる。

【0142】使用可能となることが判明すると、設定情報更新手段317は、予め記憶手段313に格納されたデフォルトの設定条件の設定情報や他のユーザーによって設定されていた設定条件の設定情報を、送受信手段318を介して受信された前記個人設定情報に書き換えて更新する処理を行うこととなる。

10 【0143】これによって、携帯電話310は、予めユーザーが設定しておいた個人設定情報（着メロ等の種類）にて使用可能の状態となる。

【0144】以上のように本実施の形態によれば、上記各実施の形態と同様の作用効果を奏しながらも、携帯電話においても、認証等の面倒な操作を行うことなく、自分の好みにあわせた設定で使用でき、不特定多数の者が使用することができる。

20 【0145】また、一つの機器を複数の異なるユーザーが使用するような状況においても、使用する度に、認証に基づき予め登録された各ユーザー個人の好みの条件が自動的に設定されるので、認証が気にならないのに加えて、設定する操作をも要しない。

【0146】[第4の実施の形態] 次に、本発明にかかる第4の実施の形態について、図10に基づいて説明する。図10は、本例の情報認識システムの全体構成を示す説明図である。

【0147】上述の第1の実施の携帯では、ユーザー端末としてデジタルカメラを例示したが、本例では、店頭プリント端末を使用する場合について開示されている。

30 【0148】具体的には、本例の情報認識システムは、図10に示すように、複数の店頭プリント端末410（410-1、410-2、410-3、・・・、410-N）と、これら店頭プリント端末410とネットワーク40を介して通信可能なサーバー420と、を含んで構成される。

40 【0149】なお、本例の店頭プリント端末410は、上記各実施の形態にて開示された端末と、プリンタやデータ記録装置等が接続される点以外は、ほぼ同様の構成を有しているのでその詳細な説明は省略する。また、上記第3の実施の形態を例にとると、個人認識情報読取手段や個人認識認証制御手段、さらには、設定情報更新手段などが構成される点も同様である。

【0150】このような店頭プリント端末410において、ユーザーに応じた個人設定が可能な設定情報としては、アルバムの配列順序や背景の画像などが挙げられる。

50 【0151】以上のように本実施の形態によれば、店頭プリント端末においても、機器使用者にとっては、従来の認証等の面倒な操作を行うことなく、自分の好みにあわせた設定やプリントサービスが受けられ、不特定多数

の者が使用することのできる端末を貸し出す機器貸し出し会社は、リピーターの増加、収入の増加が望める。

【0152】さらに、ユーザーの認証には、バイオメトリクス認証等を使用しているの、従来のようなIDとパスワードによる認証は不要となり、ユーザーは、面倒な操作を必要とせず、認証を意識することなく容易に認証処理を行うことができる。

【0153】また、一つの機器を複数の異なるユーザーが使用するような状況においても、使用する度に、認証に基づき予め登録された各ユーザー個人の好みの条件が自動的に設定されるので、認証が気にならないのに加えて、設定する操作をも要しない。

【0154】なお、本発明にかかる装置と方法は、そのいくつかの特定の実施の形態に従って説明してきたが、当業者は本発明の主旨および範囲から逸脱することなく本発明の本文に記述した実施の形態に対して種々の変形が可能である。例えば、上述の各実施の形態のサーバー及びユーザー端末のいずれか一方又は双方、システムにおいて処理される処理プログラム、説明された処理、データの全体もしくは各部を情報記録媒体に記録した構成であってもよい。

【0155】この情報記録媒体としては、例えばROM、RAM、フラッシュメモリ等の半導体メモリ並びに集積回路、光ディスク、光磁気ディスク、磁気記録媒体等を用いてよく、さらに、CD-ROM、ハードディスク、CD-R、CD-RW、FD、DVDROM、DVDROM、MO、ZIP、磁気カード、磁気テープ、不揮発性メモリカード、ICカード等に記録して構成して用いてよい。

【0156】さらにまた、媒体の例としては、コンピュータと別のデバイスの間の無線又は赤外線送信チャンネル、コンピュータで読取可能なカード、例えばPCMCIAカード、別のコンピュータ又はネットワーク上のデバイスへのネットワーク接続、及び電子メール送信とウェブサイトその他に記録された情報を含むインターネットやイントラネットが挙げられる。

【0157】この情報記録媒体を上記各実施の形態によるシステム以外の他のシステムあるいは装置で用い、そのシステムあるいはコンピュータがこの記憶媒体に格納されたプログラムコードを読み出し、実行することによっても、上記各実施の形態と同等の機能を実現できると共に、同等の効果をを得ることができる。

【0158】また、コンピュータ上で稼働しているOS等が処理の一部又は全部を行う場合、あるいは記憶媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された拡張機能ボードやコンピュータに接続された拡張機能ユニットに備わるメモリに書き込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づいて、上記拡張機能ボードや拡張機能ユニットに備わるCPU等が処理の一部又は全部を行う場合にも、上記各実施の形態と同等の機

能を実現できると共に、同等の効果をを得ることができる。

【0159】具体的には、この情報記録媒体は、少なくとも一つのユーザー端末とネットワークを介して通信可能とされるサーバーにより、前記ユーザー端末を利用するユーザーの認識を行う処理を記録したものである。

【0160】情報記録媒体は、ユーザー端末にて読み取られたユーザーを個別に認識するための認識情報と、予め登録された認識情報と、に基づき前記ユーザーに対する認証する処理を行う情報を含む。さらに、認証結果に基づき、前記ユーザー端末の設定条件に関して設定されているデフォルトの設定情報を、予め設定登録された設定情報に設定変更する処理を行う情報を含む。

【0161】また、上述の各実施の形態では、ユーザー端末（情報処理装置）として、デジタルカメラ（デジタル撮像装置）、パーソナルコンピュータ、携帯電話、店頭プリント端末（店頭プリント装置）等を例に挙げたが、この他、通信機能を有する端末例えばEWS、ノートブックパソコン、PDA、モバイル情報端末、デジタルビデオカメラ、ページャ、時計、デジタルテレビ、ラジオ等であってもよい。

【0162】またさらに、各実施の形態の各端末（デジタル撮像装置、情報処理装置、携帯電話機、店頭プリント端末）において、個人認識情報を読み取る読取手段のみ有する構成、読取手段に認証処理手段を有する構成、読取手段、認証処理手段、個人設定条件を変更する変更手段を有する構成、のいずれであってもよい。この場合、サーバー側では、認証処理手段と変更手段を有する場合、変更手段を有する場合、サーバー側で管理しない場合（端末にDBがある）などがある。

【0163】さらに、上述の各実施の形態同士、及び各実施の形態のいずれか又は全部と各変形例との組み合わせによる例をも含むことは言うまでもない。

【0164】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、ユーザー端末の使用者にとっては、従来のパスワードとIDによる認証等の面倒な操作を行うことなく、自分の好みにあわせた設定やサービスが受けられ、不特定多数の者が使用することのできる端末を貸し出すユーザー端末機器貸し出し会社は、リピーターの増加、収入の増加が望める。

【0165】さらに、ユーザーの認証には、バイオメトリクス認証等を使用しているの、従来のようなIDとパスワードによる認証は不要となり、ユーザーは、面倒な操作を必要とせず、認証を意識することなく容易に認証処理を行うことができる。

【0166】また、一つの機器を複数の異なるユーザーが使用するような状況においても、使用する度に、認証に基づき予め登録された各ユーザー個人の好みの条件が自動的に設定されるので、認証が気にならないのに加え

て、設定する操作をも要しない。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の情報認識システムの全体の概略構成の一例を示す機能ブロック図である。

【図 2】 本発明の情報認識システムの概念を説明するための説明図である。

【図 3】 本発明の情報認識システムの端末の構成の一例を示す機能ブロック図である。

【図 4】 本発明の情報認識システムにおける処理手順の一例を示すフローチャートである。

【図 5】 本発明の情報認識システムの他の実施形態の概略構成を示す機能ブロック図である。

【図 6】 図 5 の情報認識システムの端末に表示される

表示画面の一例を示す説明図である。

【図 7】 図 5 の情報認識システムの端末の構成の一例を示す説明図である。

【図 8】 本発明の情報認識システムの他の実施形態の概略構成を示す機能ブロック図である。

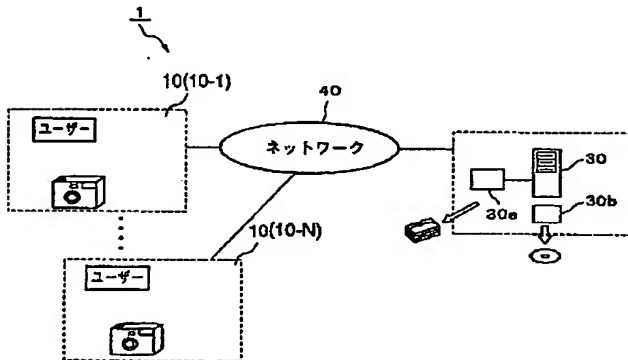
【図 9】 図 8 の情報認識システムの端末の構成の一例を示す機能ブロック図である。

【図 10】 本発明の情報認識システムの他の実施形態の概略構成を示す機能ブロック図である。

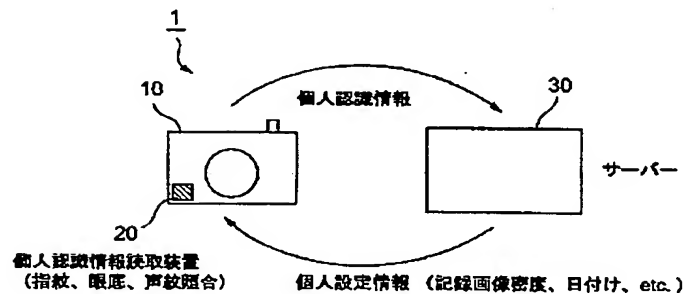
10 【符号の説明】

- 1 情報認識システム 10 ユーザー端末
30 サーバー

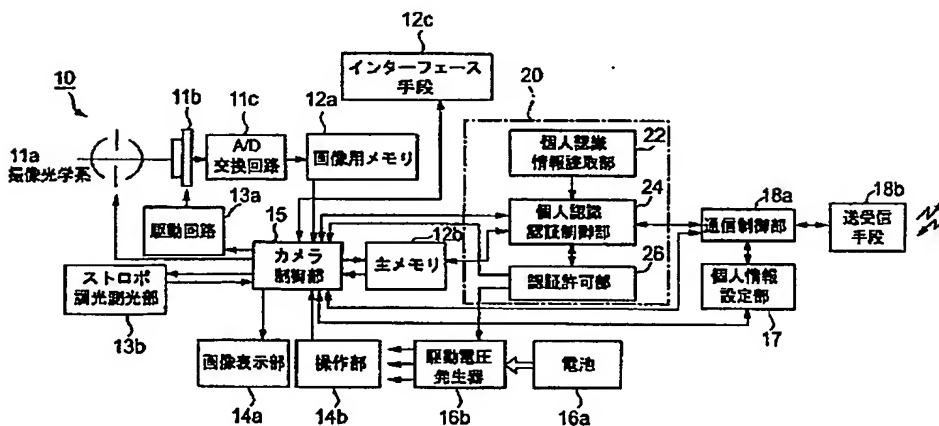
【図 1】



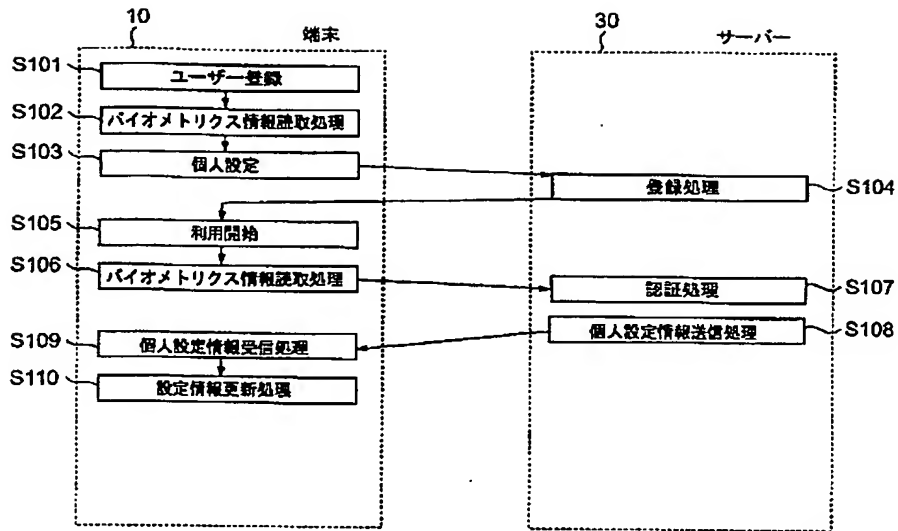
【図 2】



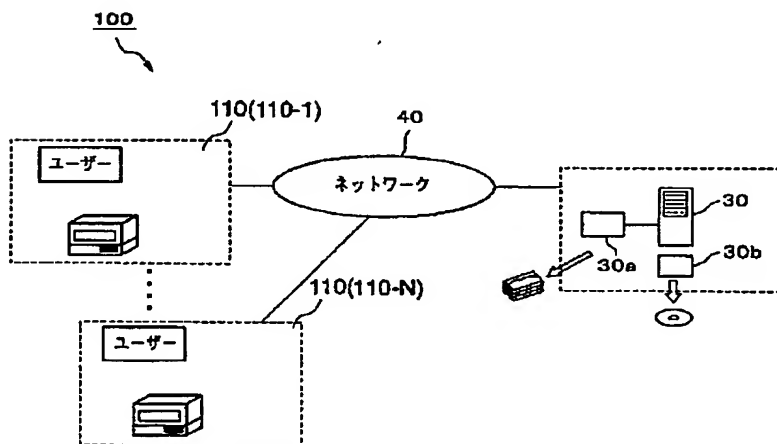
【図 3】



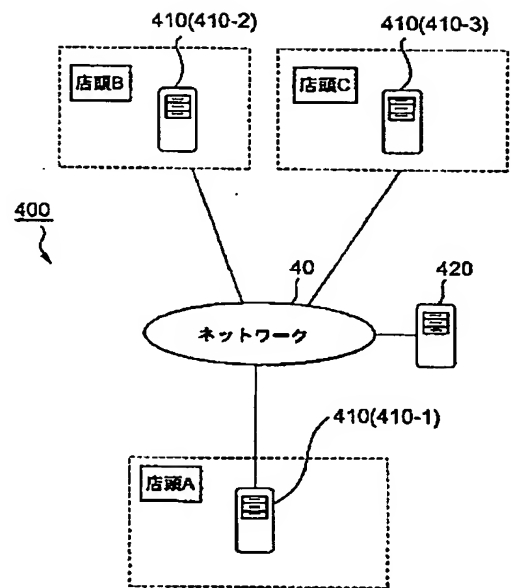
【図4】



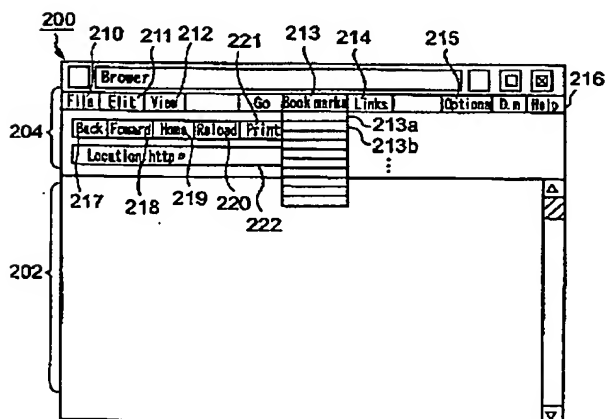
【図5】



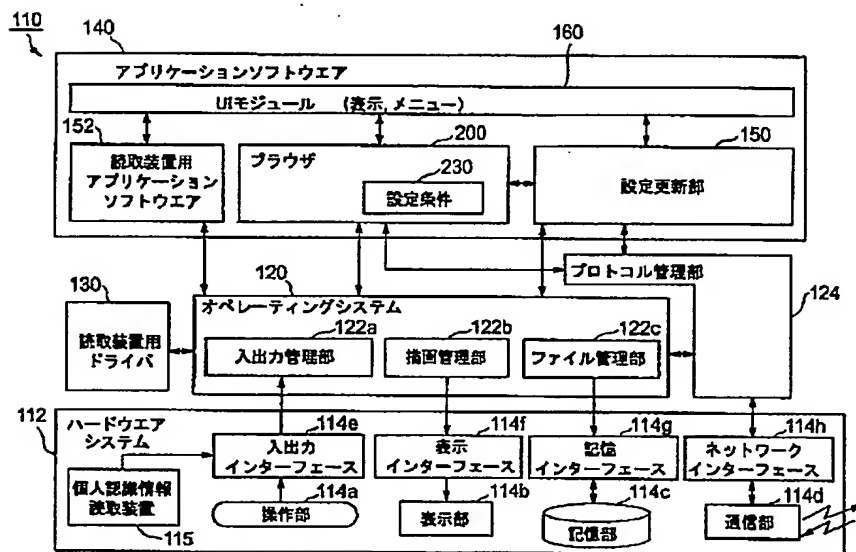
【図10】



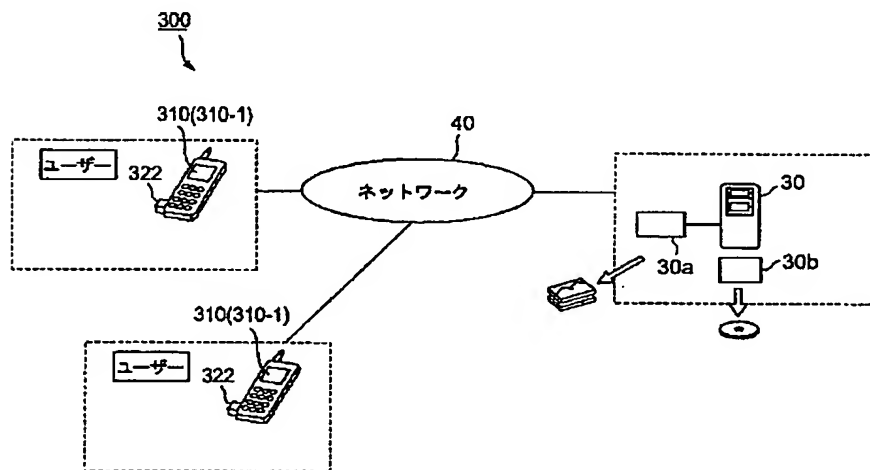
【図6】



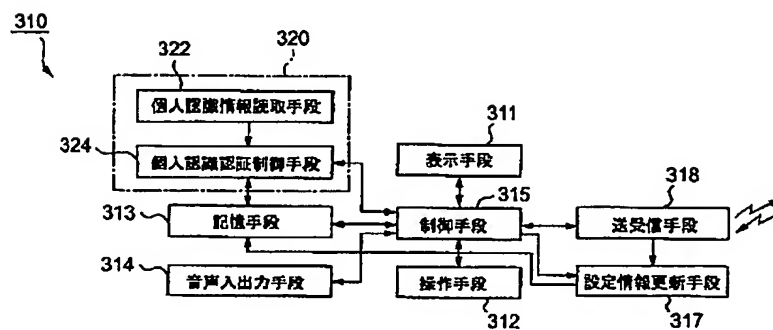
【図7】



【図8】



【図9】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	ターム(参考)
H 0 4 N 7/173	6 2 0	H 0 4 L 9/00	6 7 3 D

F ターム(参考) 5B021 AA30 NN00 NN18
 5B085 AA05 AE23
 5C064 BA01 BB10 BC18 BD05 BD09
 5E501 AA02 AA06 AA13 AA20 AB03
 AB15 AC25 AC42 BA05 CA02
 CB02 CB09 CB13 DA02 DA14
 EA05 EA10 EA11 FA03 FA04
 FA42
 5J104 AA07 KA01 KA16 KA17 KA18
 KA19 NA35 PA07